

経済・金融
フラッシュユーロ圏失業率(2025年2月)
—失業率は6.1%で最低値を更新

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

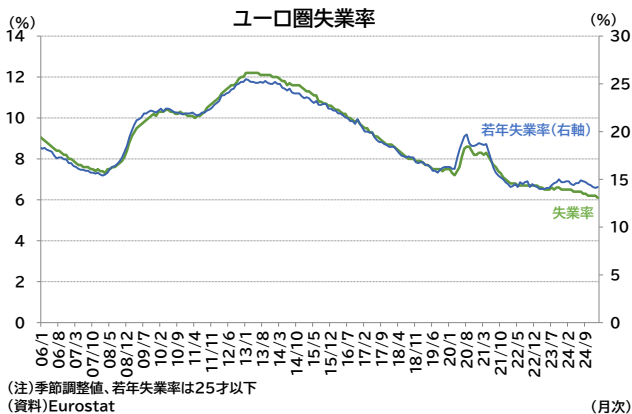
1. 結果の概要:失業率は6.1%にさらに低下

4月1日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

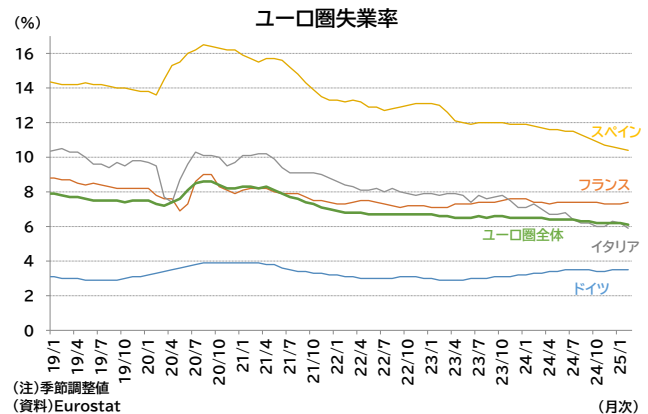
【ユーロ圏失業率（20か国、2025年2月、季節調整値）】

- ・失業率は6.1%、市場予想¹（6.2%）から下振れ、前月（6.2%）から低下した（図表1・2）
- ・失業者は1058.0万人となり、前月（1065.0万人）から7.0万人減少した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:失業率は統計データ公表以来の最低値を更新

ユーロ圏（20か国）の2月の失業率は6.1%となり、1月（6.2%）から低下して、統計データ公表以来の最低値を更新した。なお、1月以前の過去データには変更がなかった。

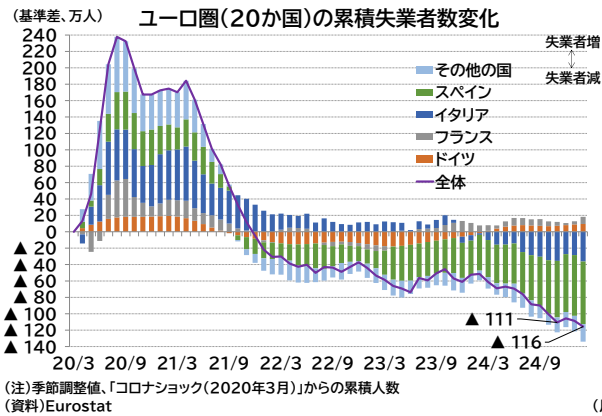
失業者数は2月の前月差で7.0万人減だった。このところ減少傾向が続くなかで、24年6月以降は12月に増加したのみで、8か月は失業者数が減少している。主要4か国で見ると、フランス（5.0万人）、ドイツ（0.5万人）が増加、スペイン（▲2.2万人）、イタリア（▲7.9万人）が減少した。スペインが13か月連続での減少となる一方で、ドイツは4か月連続で増加し、バラツキも目立つ。失業者数はコロナ禍前より116万人少なく、スペイン（コロナ禍前比▲76万人）が大きく、次いでイタリア（同▲36万人）も減少に寄与している（図表3）。

2月の若年失業率は14.2%となり、1月（14.1%）から若干上昇した。なお、若年失業率も過去データの修正はほとんどなかった。若年失業者数は2月で227.2万人（前月差+1.3万人）と2か月

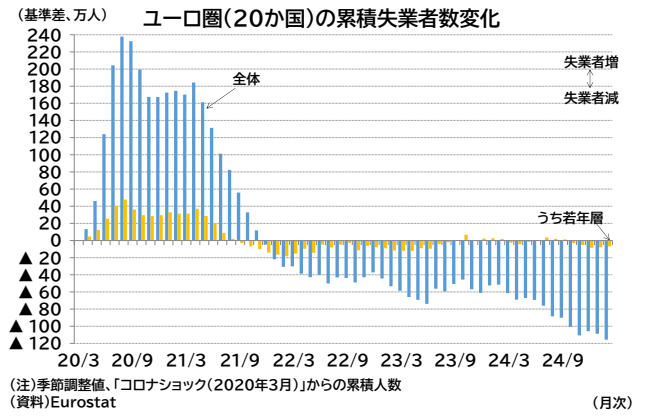
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

連続で増加したが、若年失業者数の水準はコロナショック直前（20年3月の233.9万人）を下回っている（図表4）。

（図表3）

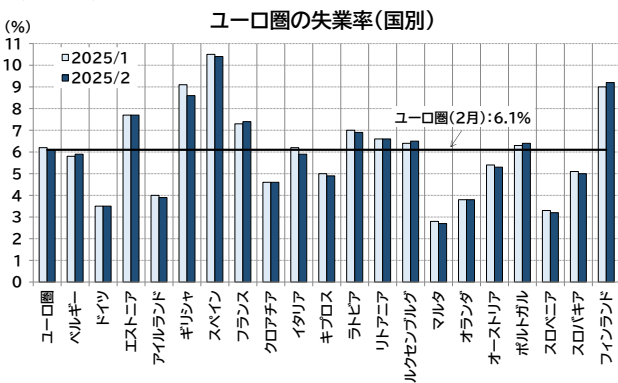


（図表4）

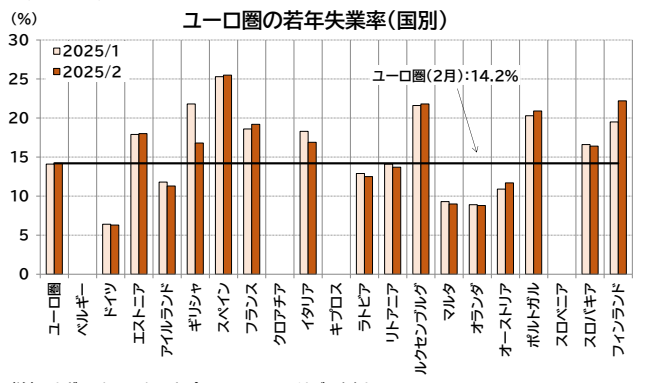


国別の2月のデータを見ると、失業率は20か国中、悪化した国が5か国、改善が10か国、横ばいが6か国だった（図表5）。若年失業率は公表されている16か国中、悪化した国が7か国、改善が9か国だった（図表6）。

（図表5）



（図表6）

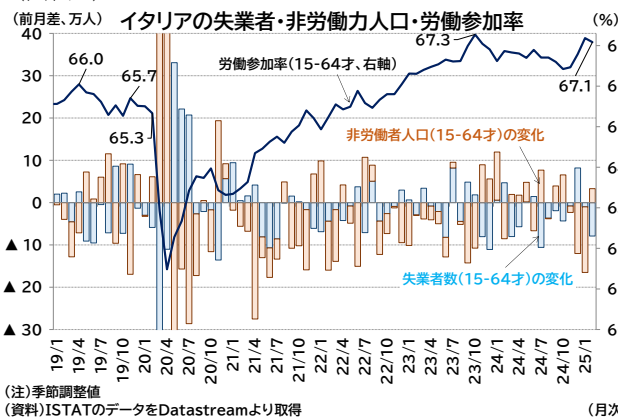


（資料）Eurostat

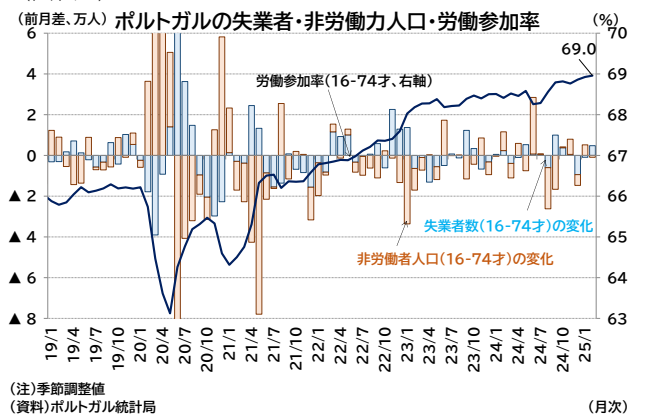
（注）ベルギー、クロアチア、キプロス、スロベニアはデータなし
（資料）Eurostat

最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が減少、就業者と非労働力人口が増加した（図表7）。ポルトガルは就業者と失業者が増加し、非労働力人口が減少する形となっている（図表8）。労働参加率はイタリアでやや減少したが、コロナ禍以降の最高水準付近にある。一方、ポルトガルの労働参加率はコロナ禍以降、一貫して上昇傾向にあり、2月はコロナ禍後の最高水準を更新した。

（図表7）



（図表8）



（注）季節調整値
（資料）ISTATのデータをDatastreamより取得

（注）季節調整値
（資料）ポルトガル統計局

本資料記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と完全性を保証するものではありません。また、本資料は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。